

## 古代ユダヤのカライ暦

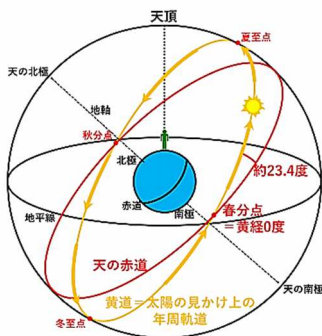
カライ暦は、古代ユダヤ人の一派であるカライ派が使用していた暦です。

カライ派は、ユダヤ教の伝統的な習慣や教義に対して独自の解釈（律法の直接的な解釈を重視し、ラビや伝統的な教義の権威を拒否）を持っており、その一環として独自の暦を採用していました。

カライ派は、中世から近世にかけて最盛期を迎えましたが、現代においてはユダヤ教の主流派ではありません。そのため、カライ暦の使用は限定的で、主にカライ派の信者や研究者によってのみ継承されています。

カライ暦は、太陽と月の動きに基づいており、**太陽の動きによって年（12 ヶ月）が区切られ、月の位相によって月が決定**されました。

春分点と黄道と天の赤道の位置関係



具体的には、春分点を基準にして、太陽が黄道（太陽の平均的な通り道）上を移動し、特定の位置に達したときに新しい月が始まると考え（左図：TANTAN の雑学と哲学の小部屋）、

月の最初の日とされる新月の日を観察し、暦の日付を確定しました。そして、カライ派の伝統や教義に基づいて、カライ暦の日付に基づいて計算された祝日や特別な日を祝いました。

また、カライ暦ではヘブライ語の月の名前が使用されますが、それぞれの月名は異なる場合があります。一般的なヘブライ暦の月名と比較して、カライ暦では独自の名称を使用することがあります。

以下、カライ歴についての ChatGPT の説明です。

▶古代ユダヤのカライ暦は、ユダヤ教のカライ派によって使用されていた伝統的なユダヤ暦の一種です。カライ派は、ユダヤ教の宗派の一つで、ラビ（律法学者）の伝統的な解釈に反対し、タナク（ヘブライ聖書）だけを信じ、それに基づいて宗教を実践する傾向がありました。そのため、カライ派はラビニックユダヤ教（ラビの教えに基づくユダヤ教）とは異なるユダヤ教の宗派として存在しました。

▶カライ派の信者たちは、ユダヤ教の暦を決定するために独自の方法を使用しました。主要な要素として、月の新月の観測と太陽の位置が含まれています。彼らの暦は、ラビニックユダヤ教のカレンダーとは異なり、ヘブライ月の始まりとユダヤの祝日の日付が異なることがありました。

▶一般的なラビニックユダヤ教のカレンダーは、ヘブライ暦に基づいており、主に数学的な計算に基づいて日付を決定します。これに対して、カライ派のカレンダーは実際の天文観測に依存しており、新月の観測や太陽の位置を用いて日付を設定しました。

▶カライ派のカレンダーは、ユダヤ教の一派であるカライ派の独自の宗教実践と結びついており、彼ら自身の祝日や宗教的な行事のスケジュールを持っていました。ただし、カライ派はラビニックユダヤ教との異なる信条と実践を持つ小さな宗派であるため、その影響力は限定的でした。

▶なお、ユダヤ教全体として、主流の宗派はラビニックユダヤ教のカレンダーを採用しており、ラビニックユダヤ教のカレンダーが一般的に広く受け入れられています。